

北海道新幹線並行在来線対策協議会 後志ブロック会議  
「余市・小樽間」個別協議の開催結果について

1. 会議の概要

【開催日時】 令和4年1月20日（木）14:00～15:00

【開催場所】 小樽市役所

【出席者】 沿線市町〔小樽市長、余市町長〕、北海道

2. 主な内容

○ 小樽市・余市町の会談結果について

1月11日に開催された小樽市長と余市町長の会談の内容について共有。

[小樽市]

- ・ 2月上旬に住民説明会を実施するため、次回のブロック会議での方向性の確認は困難。
- ・ 一番の問題は財政負担の問題。鉄路の場合、負担の多くは、沿線自治体の負担になる。

[余市町]

- ・ 「余市・小樽間」は1日2,000人以上の輸送密度がある中で、鉄路に分があると考えており、並行在来線に対する国の支援の考え方を本省に改めて確認したい。
- ・ 地域の公共交通政策であることから、全体を俯瞰した上で、この地域に鉄路が必要ではないのかどうかの方針を道に示して欲しい。

○ 個別協議の進め方について

- ・ 「余市・小樽間」について、鉄道の場合、バスの場合のそれぞれについて、メリット・デメリットの検討や収支予測などをもとに、さらに検討を行う。
- ・ 今後とも個別協議を断続的に開催し、令和4年の早い時期に方向性を決定できるよう取り組むことを確認。